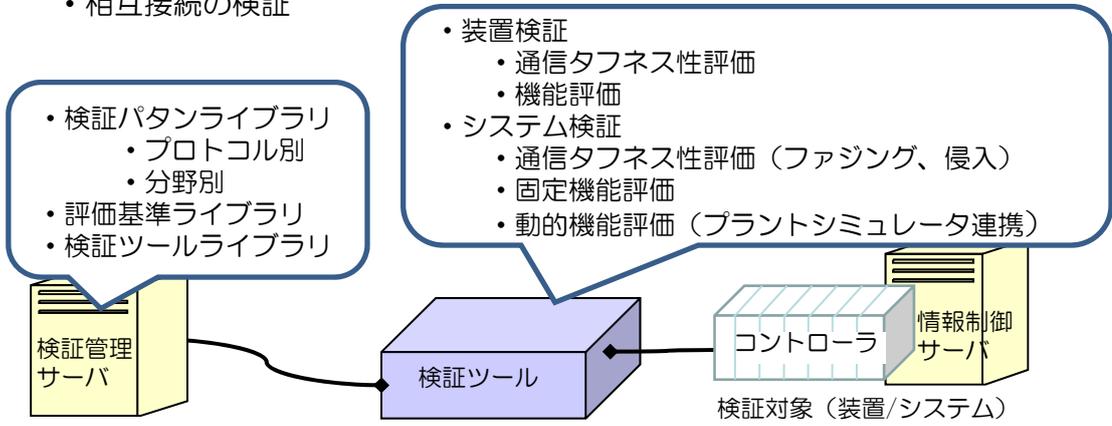


(1) システムセキュリティ検証

■狙う効果

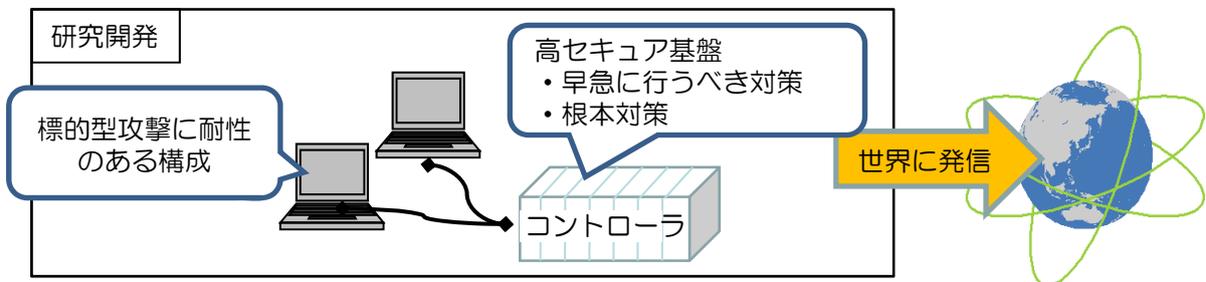
- システム・コンポーネントに対する最新セキュリティ検証ツールの提供
- ・コンポーネント、システムのセキュリティ検証ツール開発/共通利用
 - ・セキュリティ検証パタンの蓄積と共有
 - ・相互接続の検証



(2) 高セキュア化構成・技術の研究開発

■狙う成果

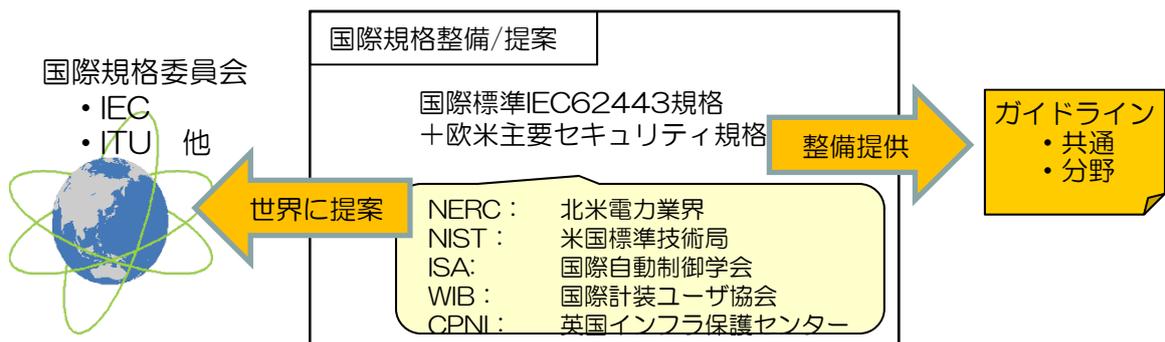
- 制御システムの要件（性能、安定稼働、長期保守、既存システム/標準との相性など）を満足する日本発のセキュア構成・技術
- ・制御システムおよびスマートシティ（オープンネットワーク）での広域連携制御向けセキュア構成・技術（暗号/認証/鍵管理、安全稼働、仕様記述、検証、多重化など）
 - ・制御システム稼働状況と連動した問題箇所解析技術
 - ・セキュリティ対策効果の検証



(3) セキュリティ国際規格

■狙う効果

- セキュリティ国際規格に対するイニシャティブ確保
- ・国際規格案の早期入手
 - ・国際規格策定への先手提案（開発技術にもとづく提案）
 - ・セキュリティ関連規格群からの標準ガイドライン構築

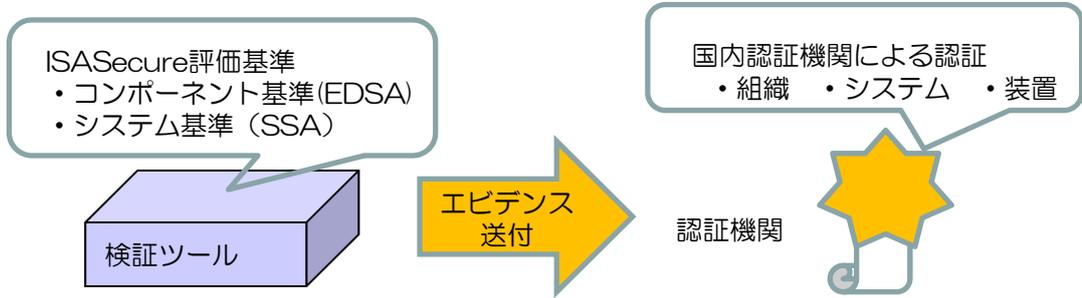


(4) 国際規格準拠認証

■狙う効果

第三者による客観的な評価基準に基づく国際認証の早期取得

- ・ 検証ツールと連携した認証
- ・ 国内認証機関と連携した短期間（低コスト）認証

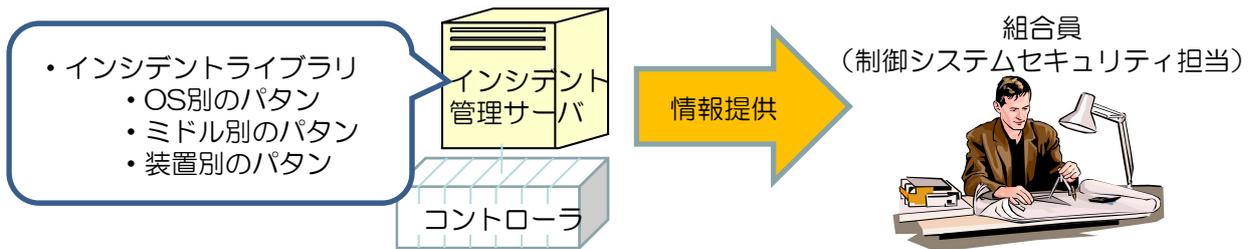


(5) インシデントサポート

■狙う効果

制御システムにおけるインシデントサポート

- ・ インシデント対応マニュアルの提供
- ・ インシデントライブラリの整備と利用環境の提供
- ・ インシデント対策サポート（オンサイトも含む）

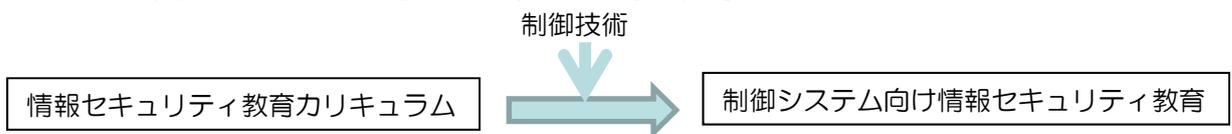


(6) 人材育成

■狙う効果

制御システムエンジニアをターゲットにした疑似体験を含めたセキュリティ教育実施

- ・ 制御システムを前提としたセキュリティ構築教育
- ・ 制御システムを前提とした障害切り分け教育



(7) 普及啓発

■狙う効果

セキュリティアラートと、セキュリティ対策効果の体験

- ・ PAシステム
- ・ FAシステム
- ・ 広域連携システム

